

# 小規模企業景気動向調査

[平成30年9月期調査]

## ～相次ぐ自然災害等の影響で、悪化に転じた小規模企業景況～

2018年11月7日  
全国商工会連合会

### ＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

### ＜産業全体＞ ◇…相次ぐ自然災害で、建設業を除く3業種で被害が深刻な小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)と採算DIがわずかに悪化、売上額DIと資金繰りDIが小幅に悪化した。相次ぐ台風や北海道胆振東部地震などの自然災害により、原材料の調達や商品の入荷の停滞や観光客の来訪に支障を来すなどの深刻な被害を来した。また、人手不足や原材料高、貿易問題による受注への影響もあり、停滞傾向から悪化に転じた。

### ＜製造業＞ ◇…台風や地震による直接被害のほか、停電等の二次被害により影響を受ける製造業…◇

製造業は全項目が悪化。悪化幅は、業況DI、売上額DI、資金繰りDIが小幅、採算DIのみわずかであった。猛暑が終わり、一部の食料品製造業でも客足が回復しつつある。また、輸出関連では、金属製品製造業、工作機械製造業、自動車部品製造業を中心に受注が好調である。一方で、台風や北海道胆振東部地震により、直接地震の被害を受けた地域のほか、食料品製造業で注文のキャンセルにより売上が減少したケースや、北海道や静岡県で長期化した停電で原材料廃棄が発生したり、電気使用量の多い金属製品製造業を中心に大きな損失を出したりしたとの声も聞かれた。

### ＜建設業＞ ◇…業況は好調も、受注・採用競争が苛烈な建設業…◇

建設業は資金繰りDIこそ若干の悪化となったが、それ以外の業況DI、売上額DI、採算DIで小幅に改善した。相次ぐ台風による被害で、ガラスや屋根といった職別工事業、電気や水道管といった設備工事業を中心に復旧工事需要が増している。公共工事では、規模の大きい工事の発注は少なく、小規模な工事が多い傾向にある。民間工事では、新築戸数は少なく、リフォーム工事が多い。また、全国で発生する災害復興工事のため、県をまたいでの受注競争、人材の採用競争が発生しており、受注や採算に影響がでている。

### ＜小売業＞ ◇…台風などの天候不順や地震・停電の影響により、悪化傾向の小売業…◇

小売業は全項目で悪化。悪化幅は、業況DIと資金繰りDIはわずかに、売上額DIと採算DIは小幅となった。10月からタバコや一部商品が値上げになることから、業種によっては若干の駆け込み需要が見られた。また、先月まで続いた猛暑が一段落し、秋冬物への移行が徐々に進んでいるとの報告があった。一方で、小売業においても台風などの天候不順や地震の影響は大きく、野菜や牛乳を中心に商品入荷が遅れ、品薄状態が続き、売上が減少したり、停電による商品廃棄も発生して経営を圧迫している。

### ＜サービス業＞ ◇…秋の行楽シーズンに入るも、天候不順や地震の影響で大幅悪化となったサービス業…◇

サービス業は全項目で悪化。悪化幅は、業況DIと売上額DIは大幅、採算DIは小幅、資金繰りDIはわずかであった。夏の観光シーズンから秋の行楽シーズンに移行し、集客が持ち直している地域もあるものの、台風、北海道胆振東部地震、西日本豪雨の影響により、全国的には旅館やホテルでは例年よりも客数が減少している。宿泊業に付随したリネンクリーニング業などの関連サービス業では、宿泊業不振にともない業況が悪化しているとの声があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 10.0	▲ 12.5	▲ 2.5	▲ 5.5	▲ 7.6	▲ 2.1	▲ 0.8	1.9	2.7
採算	▲ 14.1	▲ 15.7	▲ 1.6	▲ 13.4	▲ 14.8	▲ 1.4	▲ 10.1	▲ 6.4	3.7
資金繰り	▲ 9.4	▲ 11.7	▲ 2.3	▲ 6.5	▲ 10.4	▲ 3.9	▲ 6.1	▲ 7.9	▲ 1.8
業況	▲ 12.7	▲ 14.1	▲ 1.4	▲ 9.2	▲ 12.0	▲ 2.8	▲ 2.1	2.0	4.1

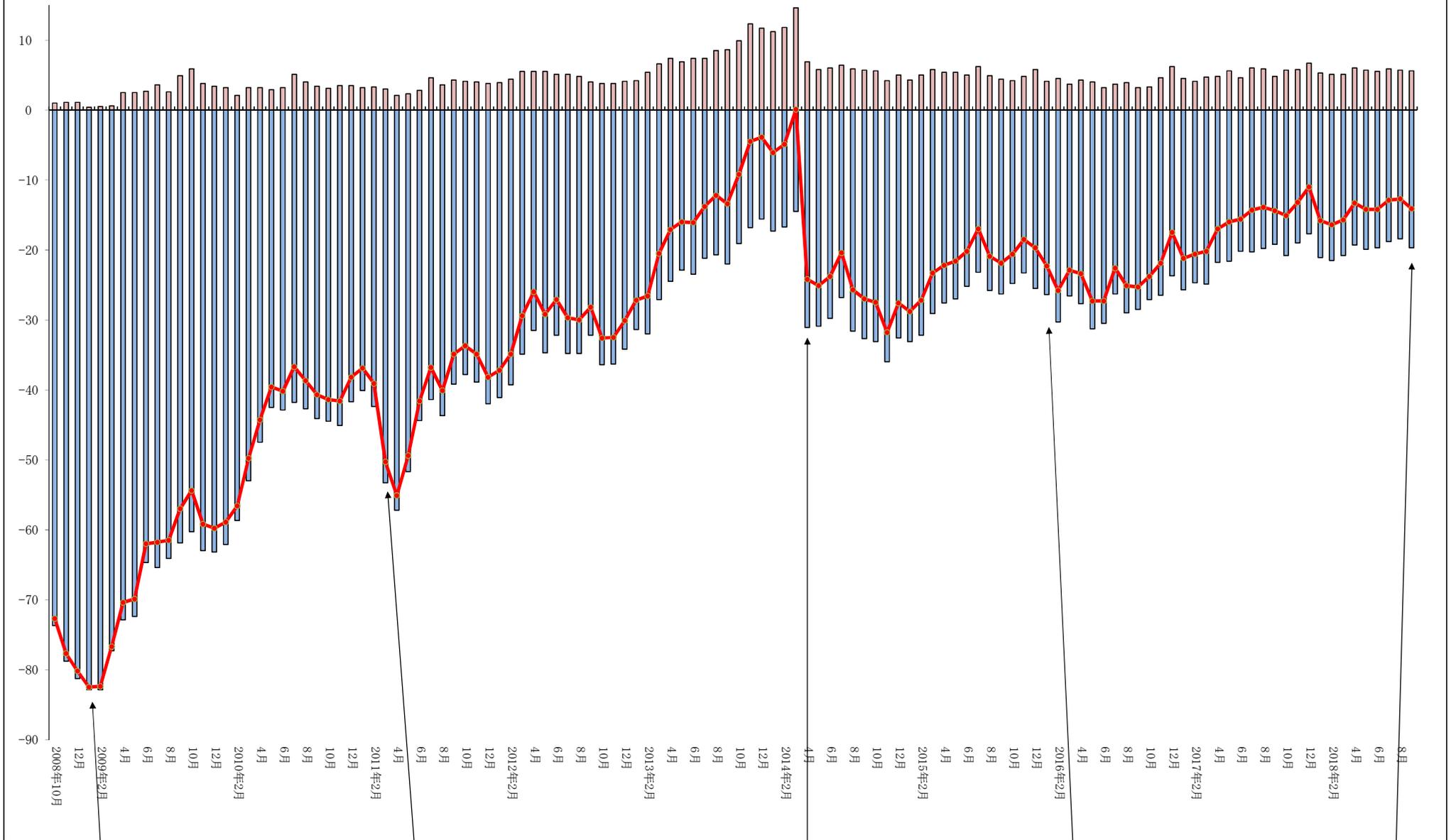
業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 21.2	▲ 23.8	▲ 2.6	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3
採算	▲ 20.0	▲ 24.7	▲ 4.7	▲ 12.7	▲ 17.0	▲ 4.3
資金繰り	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 1.7	▲ 9.9	▲ 11.6	▲ 1.7
業況	▲ 23.6	▲ 25.1	▲ 1.5	▲ 15.9	▲ 21.3	▲ 5.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



09年1月  
調査開始以来最低数値  
(-82.5)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上  
げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

18年/9月  
-14.1

## 小規模企業景気動向調査(9月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・草津白根山の噴火による交通規制が9月下旬に解除された。紅葉シーズンに向けて観光客の入込に期待ができる。

(長野県山ノ内町商工会)

・観光客の入込などが増加しており、飲食店など観光関連業種については増加傾向である。また、店舗新築や改装などの設備投資も増加しているので、建築業などは受注が安定している。

(熊本県芦北町商工会)

・上天草市の基幹産業が、ホテル旅館や土産店などの観光産業であり、夏場は、県内外からの観光客が多く、地域経済に良い波及効果が出ている。地元金融機関は、プロパー資金の他、県制度融資の斡旋に前向きである。商工会では、日本政策金融公庫と連携しながら、小規模事業者が必要としている資金を斡旋している。

(熊本県上天草市商工会)

・地元の特産であるブドウや栗を使った食品加工業が繁忙期を迎えている。これらの業種は、補助金や助成金を使った設備投資に積極的である。

(大分県佐伯市番匠商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・円安の影響もあり、燃料費が高騰している。そのため、地場産業であるタイル業界に影響が出てきている。

また、従業員30人規模のタイルメーカーが10月末をもって、生産を中止することが決まっており、下請けの小規模事業者への影響が心配。

(岐阜県笠原町商工会)

・原油高騰の影響による、燃料費の高値水準推移が経営を圧迫しつつあり、今後の動向が気になるところ。

夏場に低調だった金融需要が動き始めた感じがある。しかし、運転資金が主であり、積極的な設備投資の動きは見られない。

(東京都国立市商工会)

・大きな変化はないが、猛暑の影響からか、飲料以外の食料品が期待値には達しなかったようです。金融機関の貸し出しについては、変わらないが、小規模事業者は孫請け企業が多いので、運転資金の活用は重要である。少し決算状況が厳しいからといって貸出を渋れば、すぐに資金繰りは悪化する企業は多いと思います。

(埼玉県朝霞市商工会)

・9月前半については観光シーズンで好調であったが、月末の台風24号により、店舗の破損被害や、最長で4日間にも渡る長期停電による売上不振、食材ロス等、大ダメージを受けている。

(沖縄県うるま市商工会)

・北海道胆振東部地震による大規模停電(ブラックアウト)の影響については、食品小売業で冷凍食品等の廃棄や乳製品等の品薄による影響があった。なお、水産加工製造業では、大損害となる影響はなかった。

(北海道枝幸町商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・前回同様、輸出関連において増収傾向があり、中小事業者においては好景気感の印象がある。一方、下請け業者については、特段新規受注等があるわけでもなく不変である。

(茨城県坂東市商工会)

・機械製造業では元請が好調、自社オートメーション機械化導入によりキャパがあがり、好調に推移している事業所がある。

(香川県高松市中央商工会)

・食料品関連の製造業は、猛暑を過ぎて客足は回復しているが石油製品の値上がり仕入れ価格と経費の上昇に影響している。業界の業況もわずかではあるが好転の兆しを見せている。

繊維工業関連の製造業は、前年との比較では大きな変化はないが、売上・資金繰りは厳しい状態が続いている。機械金属関連の製造業は、微細加工切削のみではなく軽切削や重切削加工の引き合いも増加してきており、売上高及び採算性は昨年同月と比較して改善している。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・建設資材関連の製造業は、オリンピック需要で年度末までは多くの受注が見込まれる。

(石川県川北町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・北海道胆振東部地震(停電含む)により原材料廃棄や小売店の休業による売上減少、原料が手元に届かないなどすべてにおいて悪化した。

(北海道新ひだか町商工会)

・鉄工部品加工業では、西日本豪雨災害の影響で工場の片付け・機械設備等の復旧が完了しておらず、復旧に向けた資金調達相談が寄せられている。

(岡山県岡山北商工会)

・金属部品製造業については北海道地震の影響もあり、受注が滞っているところもあった。また人手不足は続いている。

(岐阜県本巣市商工会)

- ・西日本豪雨や台風の挽回生産もあって、自動車や機械等部品製造で受注の増産傾向が見られたが、原油価格上昇や米国の鉄鋼・アルミ等への関税引上などで利益面では下押し作用となるなど海外情勢の影響が出ているところもある。米国の保護貿易施策によっては、今後の原材料のさらなる高騰に不安を持つところも多い。  
(兵庫県川西市商工会)
- ・金属加工業は、仕事の確保はできているが、運賃が上がり、重量のある材料仕入に苦慮している。  
(兵庫県新温泉町商工会)
- ・プラスチック関連製造業においては、売上の的には前年並みであるがコスト上昇により採算ベースは厳しくなっている。食品製造業では、台風による停電の影響でロスによる大幅な損失がでたとのこと。  
(京都府京北商工会)
- ・弁当製造業では台風の影響によるキャンセルで売上が減少した。  
(岡山県備前東商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・規模の大きい仕事は少ないが、規模の小さい仕事は多々ある。  
(山形県高島町商工会)
- ・アパート建築や公共施設等の工事が多く、人手が不足している状況。沖縄本島から応援にきている業者も多数あり。  
(沖縄県石垣市商工会)
- ・日本列島を襲った2つの台風の影響で瓦店やリフォーム関連業者は多忙で応急処置で対応するのに追われていた。  
(滋賀県大津北商工会)
- ・台風(大風)の影響で、リフォーム業と造園業に仕事が集中し対応に苦慮している。  
(東京都東久留米市商工会)
- ・建築関連においては、現状受注は前年対比あまり変わらないが、台風被害による引き合いが多く来ており今後集中した改修工事等増加傾向。  
(京都府京北商工会)
- ・設備関連の建設業は、台風の影響で家屋の補修相談等が増えて、今後売り上げにつながりそうである。  
(奈良県平群町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・建築関連の建設業は、問合せや受注が増加しているが、作業員の確保に頭を悩まされている。  
(神奈川県伊勢原市商工会)
- ・公共・民間工事ともに増加傾向にある。但し、人件費の高騰や社会保険の加入徹底等により、採算の改善にまでは至っていない。  
(沖縄県南城市商工会)
- ・大きな変化はないが、北海道胆振東部地震による修繕等で現場工期とのバランス調整に苦慮している。  
(北海道新ひだか町商工会)
- ・造園工事業者は台風の影響もあり、大変多忙であったが、契約による維持管理については採算が厳しい状況である。  
(愛知県長久手市商工会)
- ・住宅関連の建設業は、売上は昨年同期と変化ないが、下請工事の製造原価が上がりすぎ採算が取れない。一部の大きな会社だけが景気が良いようである。  
(岡山県作州津山商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

- ・10月からの物価上昇より若干の駆け込み需要が月末に見られた。  
(茨城県潮来市商工会)
- ・生活雑貨関連の小売業は災害対策関連商品が台風の影響で品薄となった先もあった。  
(滋賀県大津北商工会)
- ・学校関係の衣料品を取り扱っている事業所は、夏休み明けで体操服や上履きの需要があり売上が増えた。青果物を取り扱う事業所は、台風の影響による品数不足の為、仕入数の減少、仕入単価の上昇等、業況は悪化。  
(茨城県守谷市商工会)
- ・タバコの駆け込み需要があった  
(北海道北広島商工会)
- ・衣料品関連の小売業は猛暑の影響が収まり、秋冬モノへの移行が徐々に進んでいる。  
(奈良県平群町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

- ・衣食料品耐久関連は引き続き猛暑の影響もあり若干売り上げは伸びるも全体的な消費は上がっていない。  
(茨城県日立市十王商工会)
- ・食品小売業は、北海道胆振東部地震の影響により野菜など道内産物が仕入れない状況があり高値が付いた。  
(静岡県川根本町商工会)

・北海道胆振東部地震(停電含む)による商品廃棄や店舗毀損による休業、商品の入荷が遅れたことによる品薄状態が続く、売上減少、経営状況は悪化している。地震による商品、備品破損は全店舗で多くみられる。  
(北海道新ひだか町商工会)

・土産物関連の小売業は、休日に悪天候が続いたため、売上が減少している。  
家電関連の小売業は、猛暑の為にエアコンの設置が多く、売上が増加している。需要過多により機械が手に入らず、すべての注文には対応できなかったが、それでも、早朝から夜まで設置に駆け回る状況であった。  
(長野県南木曾商工会)

・食品関係の小売業者は、大雨や台風が原因のため、野菜等が倍近い価格になっている。  
停電が原因で、商品が廃棄となっている。  
(岐阜県高山西商工会)

・食品小売業では、仕入運送費の上昇に加え、天候不順や自然災害に伴う収穫不良の影響が及び、高値で推移している。家電販売店では、高機能新製品(4K、8Kテレビなど)の普及が広まらない模様。  
(静岡県富士市商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・宿泊関連は学校関連の団体客が入っており、引き続き忙しい状況にある。また、飲食関連での創業が郊外の住宅街を中心に増え始めており、中心地の商店街より活気が出始めている。  
(千葉県南房総市内房商工会)

・理容業は行事があるため来店者数が増加している。家電設置・修理のサービス業は猛暑の影響もあり多忙な状況になっている。  
(茨城県城里町商工会)

・宿泊関連のサービス業は福井国体の影響もあり宿泊客等増加により売上上昇となっている。  
(福井県福井北商工会)

・秋の行楽シーズンに入り、景気は持ち直している。  
(宮崎県佐土原町商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・飲食店のサービス業は原料の値上がりにより価格上昇が避けられない状況にある。信頼度の高い店舗は値上げに踏み切っているが値上げできない店舗は利益が減少している。  
(宮城県みやぎ北上商工会)

・宿泊業の定員収容率が平均40%と悪い状況のため、クリーニング業や清掃業等付随するサービス業も業況が悪化している。  
(福島県楡葉町商工会)

・ホテル・宿泊業では北海道胆振東部地震による宿泊キャンセルが相次ぎ経営状況は悪化、リネンクリーニング業では北海道胆振東部地震によりホテル売上が激減、資金繰りに苦慮している、今後このような二次的被害が予想される。  
(北海道新ひだか町商工会)

・旅館関連のサービス業は、西日本豪雨や台風の影響が続いており、客数は減少。そのため客室稼働率を維持するため素泊まりや一泊朝食等を多用し、稼働率の維持を図っている。売り上げ単価や採算は減少。  
洗濯関連のサービス業は、例年並みで推移。

理美容関連のサービス業は、猛暑も落ち着き顧客の来店も増えてきた感じがある。これから秋のヘアスタイルを提案していきたいところである。  
(鳥取県中部商工会産業支援センター)

(京都府京丹後市商工会)

・旅館…宴会等の利用は平年と変わらないが平日宿泊客が落ち込み気味。大雨や台風の影響により、売上はやや減少傾向にあるが10月は紅葉の時期を迎えることから、売上増加に期待している。

洗濯…前年同月に比べ売上は減少。新たなコインランドリー店の開業もあり今後も厳しい状況が続くことが懸念される。高齢者施設等、大きな顧客があるところは受注安定しているようだが、個人客相手の事業所は苦戦を強いられている。

理・美容…既存顧客により売上は安定しているが、顧客層は高齢化傾向。新規顧客の定着が難しく、既存顧客で対応している状態。  
(秋田県由利本荘市商工会)